

## 5. 調 剤

### 5. 1 調剤印

- 調剤者は調剤印を使用する。
- 処方内容及びアレルギー歴を確認し、処方せん右上の欄に押印する。
- PTP シート等の計数調剤をした場合は、Rp. 毎に処方せん左側の薬品名に押印する。
- 一包化および秤量調剤をした場合は、Rp. 毎に処方せん右側の薬品名に押印する。

### 5. 2 調剤時に帳簿等に記帳が必要な薬品

#### 5. 2. 1 記帳が必要な医薬品（在庫管理）

- 帳簿に調剤数量を記帳し、残数を確認する。
  - 帳簿記帳を行った際、処方せんの薬品名にチェックマークを記載する。
- ① （第1種）・第2種・一部の第3種向精神薬等  
フルニトラゼパム錠、ゾルピデム OD 錠、プロチゾラム錠、トリアゾラム錠、  
トリクロロールシロップ、ダイアアップ坐剤、ワコビタール坐剤  
\* 交付方法は「麻薬・向精神薬取扱手引き」を参照。
  - ② 毒薬（アミオダロン錠、プラケニル錠等）
  - ③ 覚せい剤原料（緊急購入：セレギリン錠）

#### 5. 2. 2 抗がん薬の調剤

- 抗がん薬調剤の際は、レジメン管理票を記入する。

< 休薬期間の確認が必要な抗がん薬 >

カペシタビン錠、エスワンタイホウ OD 錠、ロンサーフ錠 等

※ 初回時にはレジメン管理票を作成する。